



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

地域学校協働本部事業 協働活動推進研修
地域学校協働研修会相双地区研修

- 日 時：①令和5年2月7日（火） 9：45～12：00
- 会 場：鹿島農村環境改善センター・大会議室（南相馬市鹿島区寺内字迎田 22-1）
- 内 容：「レクリエーションゲームの効果と役割」
- 講 師：福島県レクリエーション協会常務理事兼事務局長 佐藤 喜也 氏
 （上級レクリエーション・インストラクター）

【研修のまとめ】

- 子どもたちを取り巻く環境の現状「多くの制約による遊びの環境の変化」「孤食等食生活・食習慣の変化」「豊かなメディア環境による弊害」「遊ぶ時間・空間・仲間の喪失」から、改めて子どもも、そして大人もレクリエーションを楽しむことのよさを、体験を通して学ぶことができました。
 - ・「じゃんけんゲーム」「トランストレーション（置き換え）ゲーム」「茶つぼ」「（ペアによる）タイとタコゲーム」等「レクリエーションゲーム」のポイント！
 - ① 一指示一動作
 - ② 同時呼吸、同時発声、同一同時動作。（「せーの」）
 - ③ 「できた」の積み重ね。（初めは誰でもできることから始める）
 - ④ 自らが自分の心を元気にする。
- 「ペア活動の意義」（グループ活動にもつながる）
 - ① 一人でやるのは簡単、二人でやると難しい。
 - ② できたらどう喜ぶかを二人で考える。他のペアよりも目立つように工夫する。（盛り上がることは一体感を生む）
 - ③ ゲーム中でも相手の目を見る大切さ。＊名札の位置も確認を。

参加者の感想

- 遊びを通して、子どもたちが多くのことを学び、体得していくのだと改めて知る機会となった。自ら体験することでレクリエーションの楽しさを実感することができ、活動に活かしていけたらと思った。（40代 教職員、保護者）
- 「遊び」の中で「育てる」ことを再確認した。また、私自身「遊び」や「ゲーム」が楽しく好きだったことを思い出した。明日からの支援に、そして自分の生き方に活かしていきたい。（60代放課後子ども教室等関係者）
- 地域と子どもとの関わりの大切さを学ばせていただいた。レクリエーションゲームを取り入れることで導かれる価値があることが分かった。（50代 行政関係者）

